



横浜市立永田台小学校

# 学校だより

2月号 令和8年1月30日 NO.600



## かがやき祭で輝いたこと

副校長 坂入 亮太

先日開催いたしました「かがやき祭」には、多くの皆様にご来校いただき、本校の子どもたちの取組をご覧いただきました。公私ともにご多用の中、温かく見守っていただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

「かがやきの時間」の取組では、新しい年度の始まる4月に各学級で出会った子どもたちと担任教師が話し合い、それぞれの学級の方向性や活動内容を決めたり、調整したりしながら学習しています。子どもたちは、「かがやきの時間」の中で自分の思いを表現することや、友達の考えを受け止めること、集団としての活動を決めることなど、実社会の中で生きる力を育てていきます。

低学年の子どもたちは、生活科の学習で調べたり、体験したりしたことを自分の力でまとめ、かがやき祭当日は参観している方に自分の言葉で伝えることをがんばっていました。自分の思いを友達や家族、参観してくださった皆様に受け止められ、認めもらえることで、どんどん笑顔が増えていきました。

中学年、高学年の取組では内容がさらに高度になり、目標を達成するために調べたことや、その過程で工夫したことについて上手にまとめ、発表していました。参観者の皆様に一緒に体験してもらうことで、自分たちが感動したことや伝えたいと願っていることを深く理解してもらえるように、進んで取り組んでいる姿が多く見られました。

それぞれの学級でたくさんの輝いた場面が見られた行事にすることができました。

かがやき祭は当日の活動だけでなく、そこに至るまでの取組に大きな価値があります。目標とすることに対する課題をとらえ、解決方法を創意工夫し、教師やその他の専門家、地域の方々に教えてもらい、友達と協力して取り組むことで解決する。その過程で新たな気づきがあり、さらなる課題を発見することで、学習が深まっていきます。このことが、文部科学省が皆様にお示ししている「探究のプロセス」です。「かがやきの時間」はとても長い期間の学習となり、様々な困難に直面することになりますが、その学習を継続できるのは、子どもたちをご家庭で支えてくださっている保護者の皆様、地域で子どもたちを見守ってくださっている方々のご理解とご支援のおかげです。重ねて御礼申し上げます。

年度末まで残り2か月、本年度の登校日は30日あまりとなりました。一年のまとめの大切な時期です。教職員一同、子どもたちのためによりよい教育活動ができますよう頑張ります。今後ともご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

